

令和7年度の学校評価（年度末評価）

本年度の重点目標		<ul style="list-style-type: none"> 1 子どもたちが健康で安全に学校生活を送り、保護者が安心して登校させることができる学校 2 一人一人に応じたきめ細やかな教育と自立を目指した指導・支援の推進 3 特別支援教育におけるセンター的機能の充実と地域に開かれ地域と協働する学校 4 実効性のある働き方改革の推進 	
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
小学部	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な学校生活のための教育環境の整備 ・卒業後に向けた体系的な学習の取組 ・交流及び共同学習の推進と充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適な学習環境の整備と健康管理における関係者の連携、職員間の連携 ・各教科の内容を踏まえた授業実践の変容と充実 ・学校間交流の更なる充実児童の実態に合わせた活動内容やグループ、集団の人数の調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内の整理整頓、学習環境の設定及び換気、けがの再発防止の徹底など職員間で共通理解を図りながら行ってきた。 ・部研究では各学年で、各教科の内容を踏まえた実践を行ってきた。児童の実態に合わせて、生活科や算数、国語の内容を取り入れるように変化してきた。 ・浄水小との交流では本校の4,5年生が浄水小へ出向き、より充実した内容で交流を行うことができた。
中学部	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な学習環境の整備 ・卒業後の生活を見据えたキャリア教育の推進 ・地域資源を活用した学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康、安全に関する情報や、ヒヤリハット事例等の共有、迅速な対応・改善、生徒の実態に合わせた環境整備や職員配置 ・人と関わる力やコミュニケーション力、生活力等の向上を目指した授業実践 ・交流相手校との活動内容の充実、地域資源を活用した授業実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒事故の防止を重点項目として取り組んだ。これまで救急搬送等の大きな事故は起きていない。 ・学校で取り組んでいることが、家庭でも見られるようになったなど、日々の実践の成果が見られた。 ・相手校への事前講話、オンライン交流の後、直接交流を行った。充実した交流となった。地域資源の活用は、AB課程を対象に豊田市美術館学芸員による出前授業を実施した。
高等部	<ul style="list-style-type: none"> ・健康な生活を実践する意識の醸成 ・自立と社会参加に必要な知識、技能、態度の育成 ・地域社会との交流の積極的推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な教育を行うための環境整備と健康・安全意識を高める指導の充実 ・卒業後の生活に直結する学びに向けた目標設定 ・周囲と適切に関わる力を引き出すための目標設定 ・地域社会との協働を、交流活動や啓発活動、出前授業、スポーツ活動を通して具現化 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏場の教室と廊下の温度差を少なくするための対応を行うことで、体調不良になる生徒は出なかった。 ・校内実習や職場体験等を通して将来に向けての見通しをもつことができています。 ・地域の方や高校との交流を実施した。また複数の出前授業を実施、スポーツの大会へ積極的な参加を促した。
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展代替案や学校だより等の計画と調整、業務内容の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内掲示の調整、各部掲示作品を含めた希望調査 ・作成物に関する校務分掌や保護者等との連携 ・継続的な業務内容の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展代替案を計画し、各学級の協力のもと、計画的に取り組めた。 ・学校だより、とよひま祭等では、校務分掌・PTAとも連携して取り組めた。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に基づく教科指導の実践推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の指導例、見方・考え方等の情報提供 ・教員による教科の指導内容の検討に対する助言等 ・個別の指導計画の様式、利活用のためのシステム検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・各部研究や教科会での検討、学習会等での情報提供等により、重度・重複障がい児童生徒に対する教科指導に関する理解を深めることができた。学習指導要領の着実な実施に向けて、個別の指導計画の様式変更など実施計画の検討を進めている。
研修部	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質・能力・意欲の向上につながる情報や機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が主体的・対話的に深く学び合える研修の機会や方法の検討と提供 ・肢体不自由教育の専門性と授業づくり向上に重点を置いた学習機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会案内や書籍情報、研修会に参加した職員の研修報告の回覧等学びの機会を提供するとともに、新しく次年度から職員が気軽に校内授業見学ができる機会の設定を実施する方向で決まった。
教育情報部	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教材を活用した学習環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教材の保管場所や使用場所の設定と周知 ・積極的な情報収集を行い機器の導入を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド活用に伴う様々なルール変更について、校務支援システムや研修を通して情報提供や研修を実施した。 ・ICT教材をより活用できるよう、自立活動部を連携し教材活用につながるような情報提供や研修を行っていく。
指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の安全管理に努め、安心して安全な学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者を交えた引き渡し訓練や実行力のある防災・防犯訓練の提案、実施 ・職員間、保護者間で安全に対する意識向上 ・スクールバスの安全な運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践を意識した訓練や研修を企画し、安全管理意識の向上に努めた。また、非常用備蓄備品・食料を充実させた。 ・添乗員、介護員の運行時の業務を見直し安全の向上に努めた。また、個人情報や車両の鍵の管理の徹底を行った。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員や保護者への将来の生活に関する情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員対象に将来の生活に関する情報提供や学習会の実施 ・保護者対象に進路説明会や関係機関と共催での学習会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員対象に夏季休業中に児童生徒の将来の生活に関する学習会や定期的に情報提供を行うことができた。 ・関係機関と連携して、保護者へ児童生徒の将来の生活に関する情報提供や学習会を行うことができた。
保健体育部	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心に学校生活を送るための環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・けがの予防のためのヒヤリハット事例の収集・活用 ・安心安全な医療的ケアの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの集約方法をデータ化し報告しやすくして、対策を講じることで安全な環境を整えることができた。 ・医療的ケアコーディネーターを中心に、担任、養護教諭、看護員等で細かく情報を共有し、安全にケアの実施ができた。
自立活動部	<ul style="list-style-type: none"> ・自立活動の授業づくりを支える情報提供の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業づくりを意識した情報交換会や研修会の企画・運営 ・経験の浅い教員対象に、新転任研修や校務支援システムでの情報提供の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・O T ・ P T との情報交換会や外部講師による学習会を実施して、指導力向上につなげることができた。 ・プール指導や体へのアプローチなど基礎的な研修を実施して、教員全体のスキルの底上げができた。
教育支援部	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回相談等で地域のニーズを収集し必要とされる特別支援の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・要望に応じて必要な研修会を実施 ・特別支援教育の指導方法や進路等について学校HPやPOTETOなどで情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校の教員を対象に動画やパワーポイントによるe-ラーニング研修を実施した。支援の必要な児童生徒の行動のとりえ方や進路指導についての理解を深めていただいた。今後も小中学校の指導に生かすことのできる情報発信を行っていく。